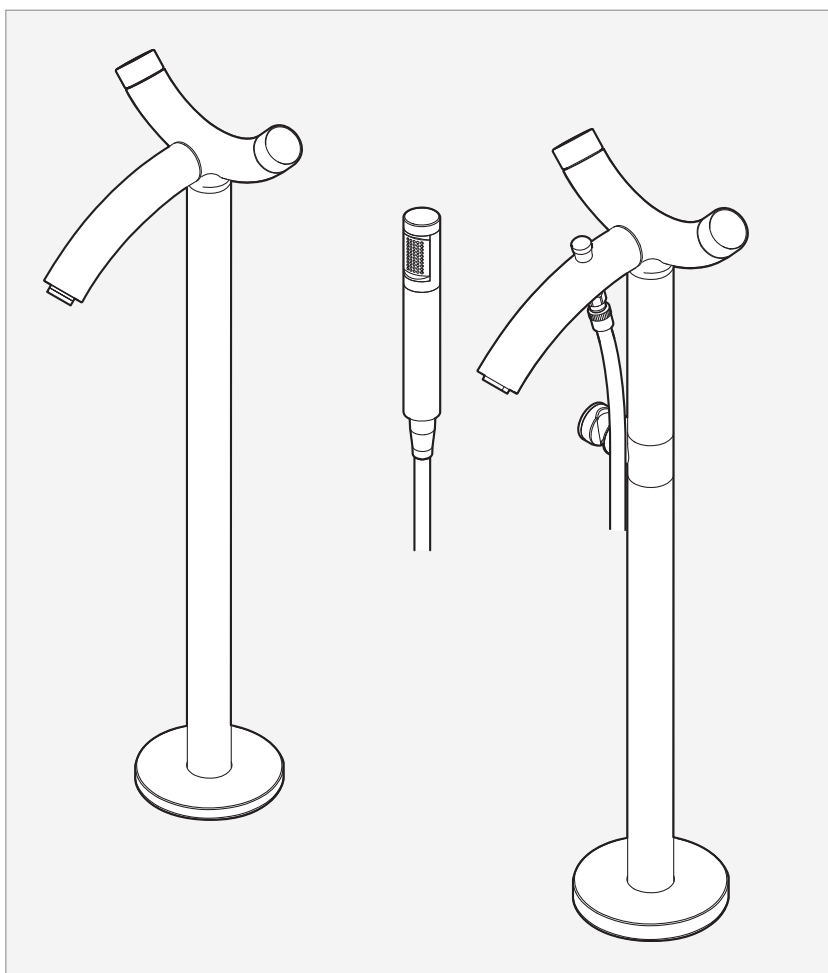


ツーパーバルブ混合栓 ..... K8500

ツーパーバルブシャワー混合栓 ..... SK8500

## 施工・取扱説明書

施工、ご使用の前に必ずこの説明書をお読みのうえ、正しく施工、ご使用ください。



### お客様へ

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。  
 なお、保証書にお買上げ（お取付け）年月日、販売店（工事店）名の記入のない場合はお買上げ（お取付け）の販売店（工事店）に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

### 工事店様へ

施工後、保証書に貴店名ならびにお取付け年月日をご記入のうえ、本書と共にお客様へお渡しください。

### 本製品について

各部の名称 ..... 1

### 施工について

施工に関する安全上のご注意 ..... 2  
 適切な使用条件 ..... 3  
 施工前のご注意 ..... 3  
 梱包明細 ..... 4  
 施工手順 ..... 5~11

### ご使用について

ご使用に関する安全上のご注意 ..... 12~16  
 吐水・止水・温度調節 ..... 17  
 吐水の切替え（シャワー付の場合） ..... 18  
 凍結予防 ..... 19

### 日頃のお手入れ

汚れの拭き取り ..... 19  
 吐水口の掃除 ..... 20  
 シャワーヘッドの掃除（シャワー付の場合） ..... 20

### 定期的な点検

配管周りの水漏れ・器具のガタツキ ..... 21

### 定期的な部品交換

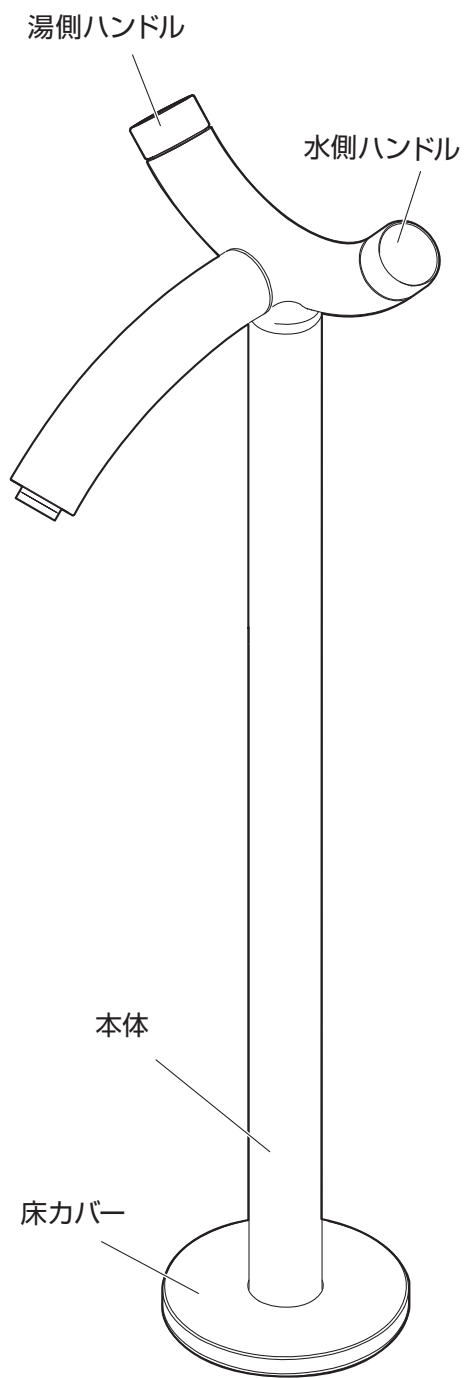
逆止弁の交換時期（シャワー付の場合） ..... 21

### こんなときは

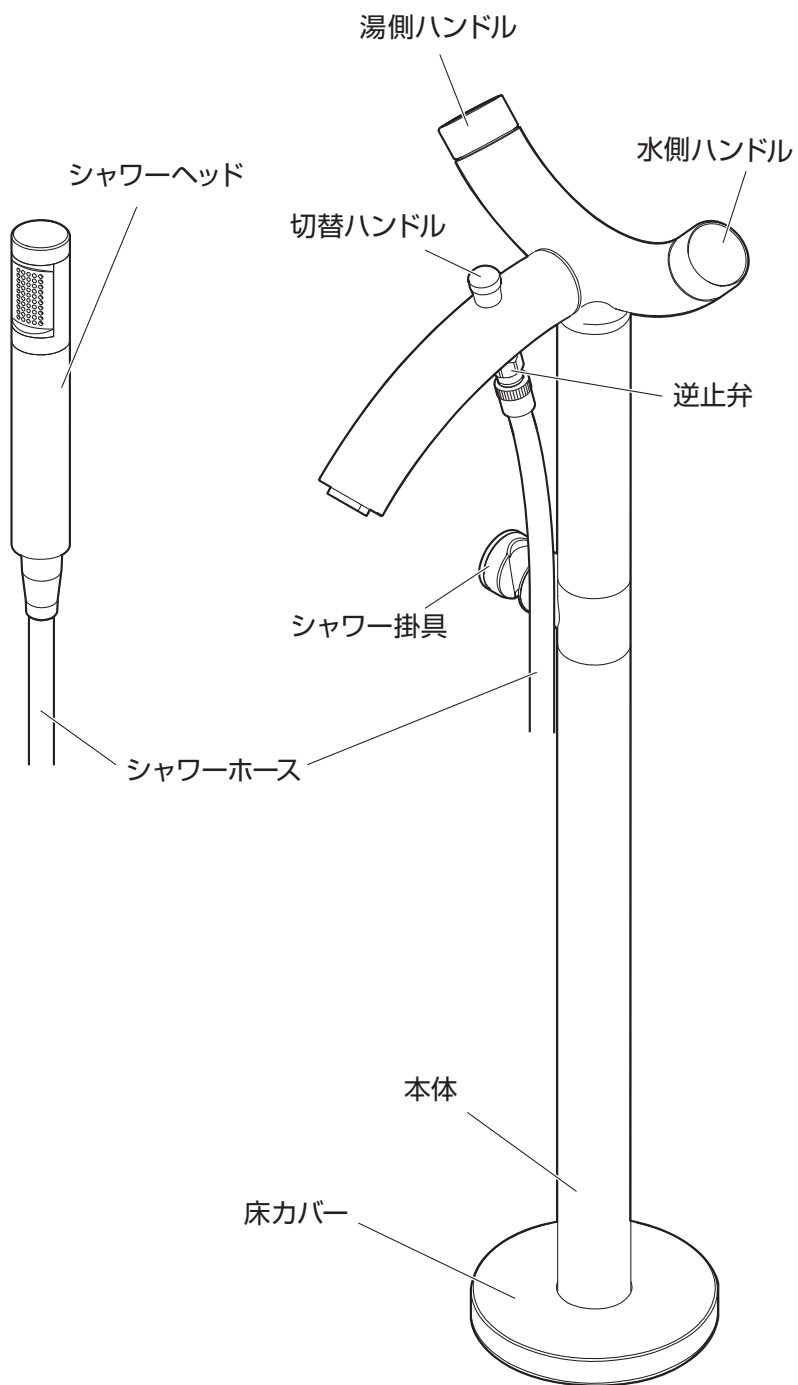
故障？ その前に ..... 22  
 本製品の構造 ..... 23~24

### 保証とアフターサービス

保証とアフターサービス ..... 26  
 保証書 ..... 裏表紙



### ■シャワー付の場合







# 施工について

## 施工に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- 施工は、水道法、その他の関係する法規などに従って行ってください。

### 用語および記号の説明

<b>警告</b>	……………	「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」
<b>注意</b>	……………	「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
	……………	「注意しなさい!」(上記の「警告」・「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。)
	…	「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)
	…	「分解してはいけません!」
	…	「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)

### 警告



**修理技術者以外の方は、水栓本体内部を分解しないでください。**  
故障や水漏れの原因になります。



**同梱の部品以外は使用しないでください。**  
故障や水漏れの原因になります。



**湯水を逆に配管しないでください。**  
正常に作動しないため、やけどをする事があります。  
参照：P8



**給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。**  
85℃より高温でご使用になると、器具の寿命が短くなり、水栓が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

### 注意



**製品に強い力や衝撃を与えないでください。**  
故障や水漏れの原因になります。



**ハンドル、吐水口を持って持ち上げないでください。**  
取付け部が破損し、けがや水漏れの原因になります。



**取付完了後、製品にガタツキがない事を確認してください。**  
製品にガタツキがあると、落下・けが・破損の原因になります。



**凍結が予想される地域には、取付けないでください。**  
凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

## 施工について 適切な使用条件

### 〔水圧について〕

給水・給湯圧力	最低必要水圧（流動時）	最高使用水圧（静止時）
	0.1MPa	0.75MPa

- 給水・給湯圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.4MPa程度に減圧してください。
- 給水圧力は給湯圧力より必ず高くしてください。

### 〔給湯機について〕

使用最高温度	85℃以下
--------	-------

- 給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 誤操作などによるやけど防止のため、50℃給湯をおすすめします。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。
- シャワーを使う際には、条件に適したガス瞬間式給湯機の号数（能力）が必要です。  
四季を通じて快適なシャワーを得るために、給湯能力16号以上をおすすめします。

### 〔水質・用途について〕

使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水	用途	一般住宅用
--------	---------------	----	-------

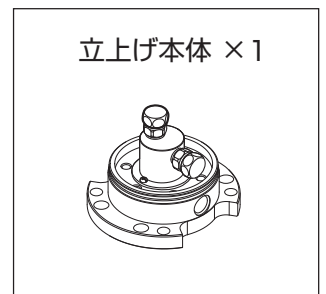
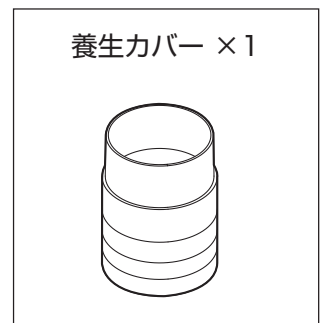
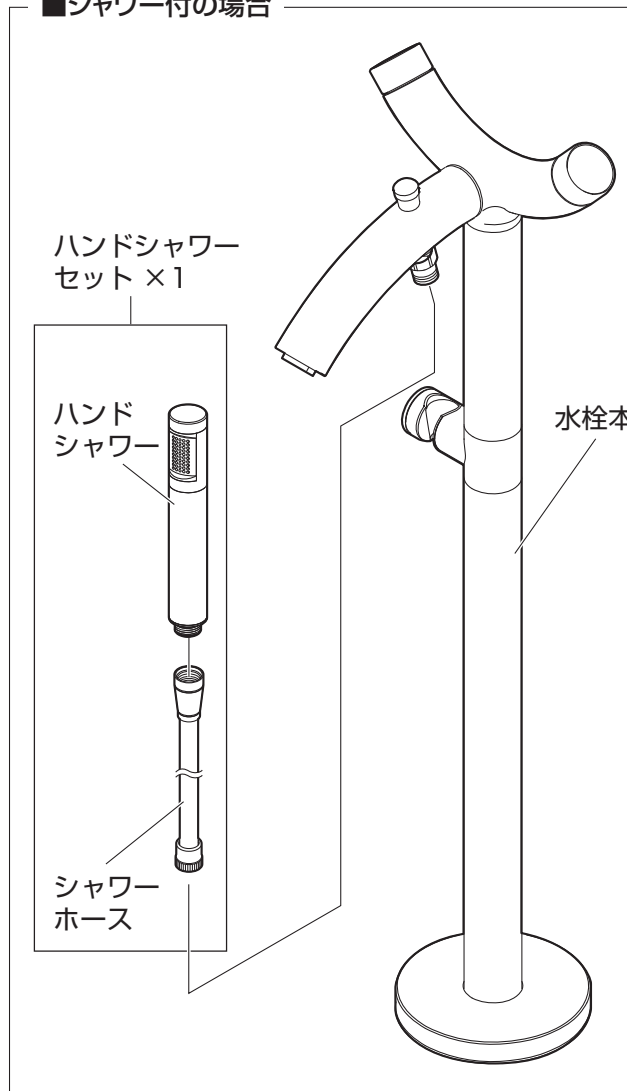
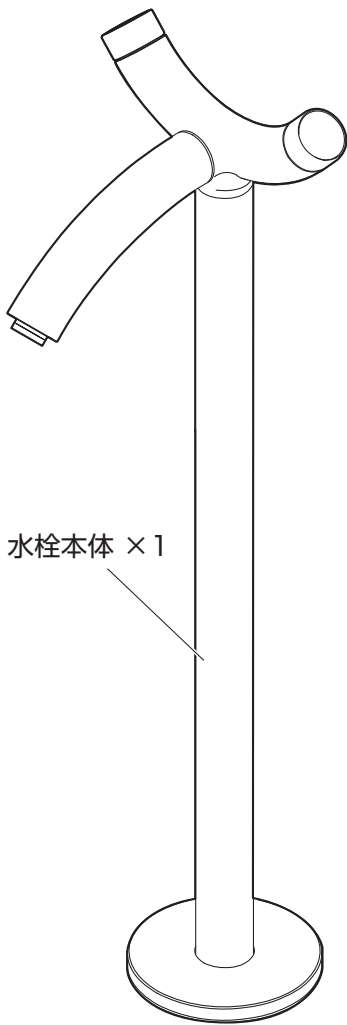
## 施工について 施工前のご注意

- 給水は、上水道に接続してください。
- 開梱、施工の際は製品に傷をつけないようご注意ください。
- 配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

# 施工について 梱包明細

●本書（施工・取扱説明書「保証書付」）×1

## ■シャワー付の場合



### 水栓本体取付ボルト



六角穴(対辺8)付き  
ボルト(M10) × 6

### 水平調整ボルト



六角穴(対辺6)付き  
ボルト(M8) × 4

### アンカーボルトセット



ナット × 4



スプリングワッシャー × 4



ワッシャー × 4



アンカーボルト × 4



アンカー × 4

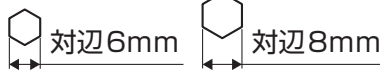
●通水検査をしていますので水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

### 主な工具類

- シールテープ：  
止水栓を取付ける際に必要です。



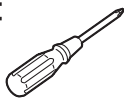
- 六角レンチ：



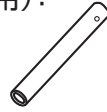
- スパナ・モンキーレンチなど：  
水栓のナットが回せる工具。



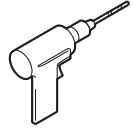
- プラスドライバー：  
シャワー掛具を取付ける際に必要です。



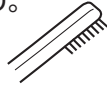
- 打ち込み棒(M8用)：  
アンカーボルトを打ち込む際に必要です。



- 電動ドリル：  
アンカーボルトの下穴をあける際に必要です。



- 使い古しのハブラシなど：  
配管掃除ができるもの。



- 塩ビカッター：  
養生カバーを切断する際に必要です。



- シーリング材：  
養生カバーと仕上面のすき間を埋める際に必要です。



- 手袋：  
ケガ防止のために着用してください。



- タオルなど：  
ケガ防止や水栓保護のために使用します。

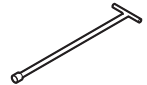


- ぞうきんなど：  
配管中の残り水を拭くのに使用します。



元栓がキー式の場合に必要な工具

- 止水栓キー

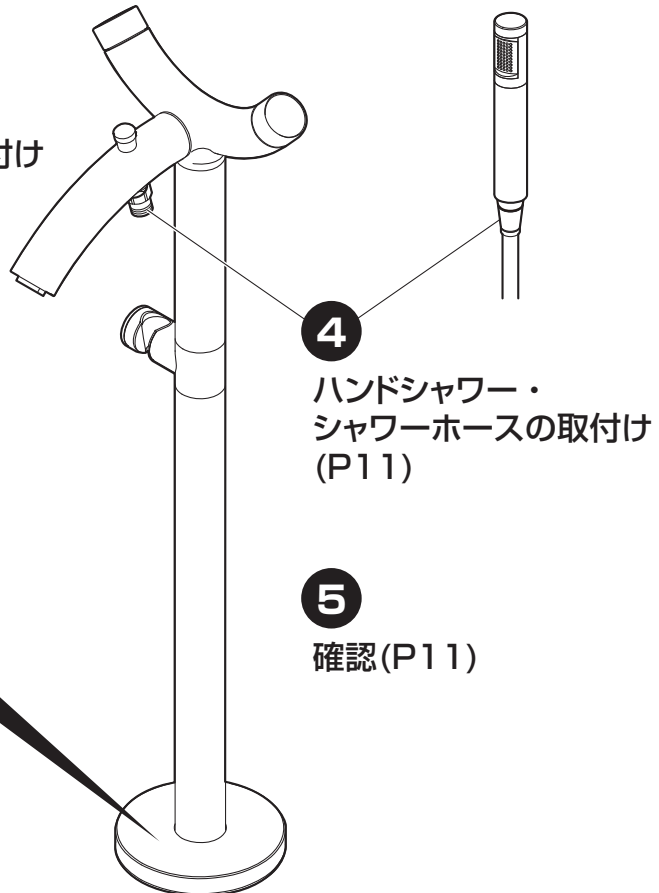
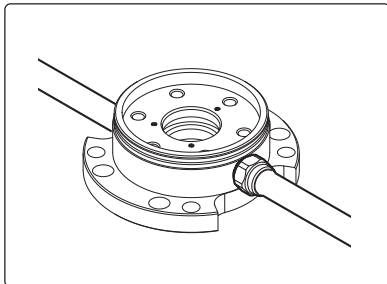


### 施工の流れ

- 1 寸法図の確認 (P6)

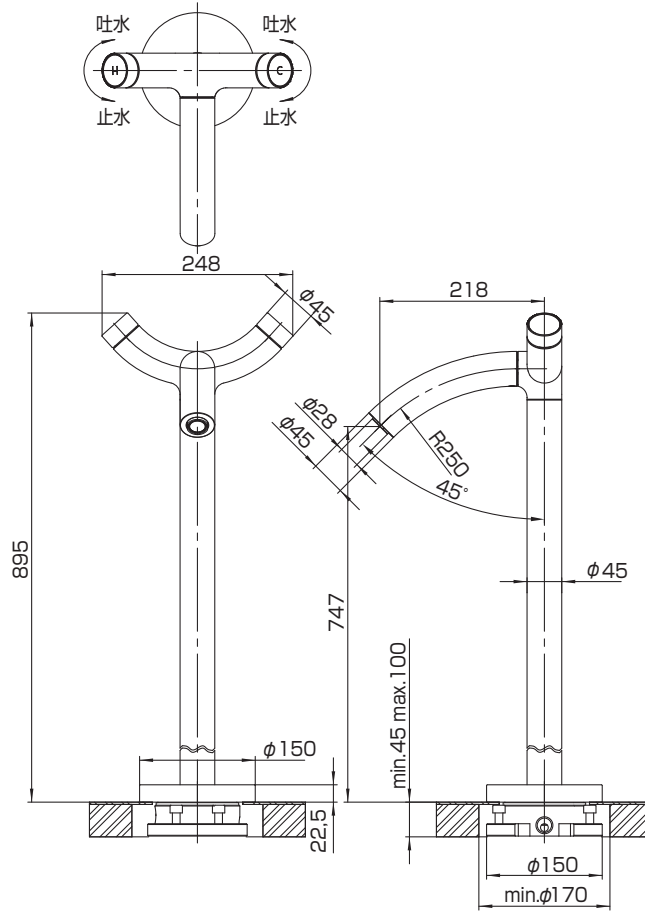
- 3 水栓本体の取付け (P10)

- 2 立上げ本体の取付け (P7~9)

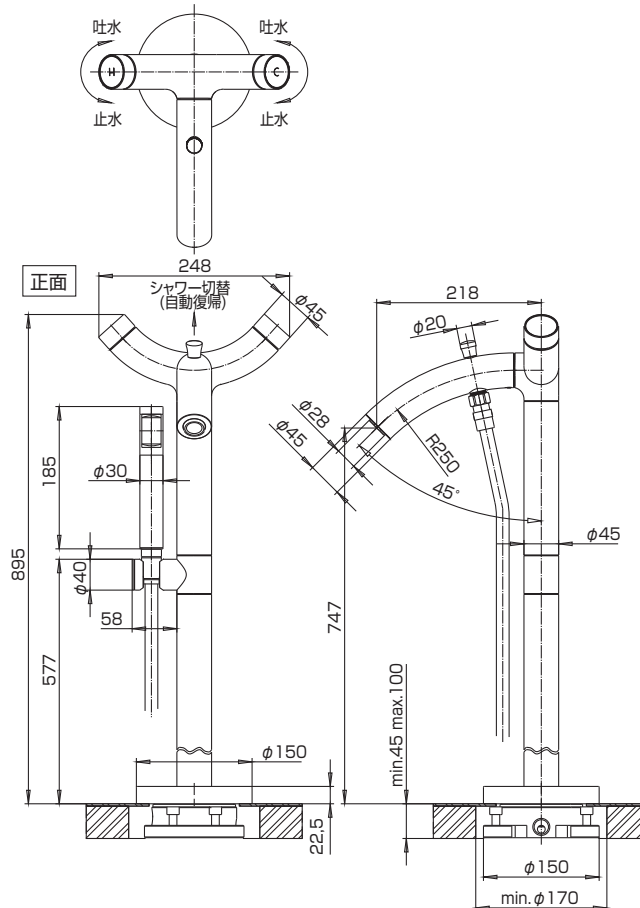


# 1 寸法図の確認

## ■K8500

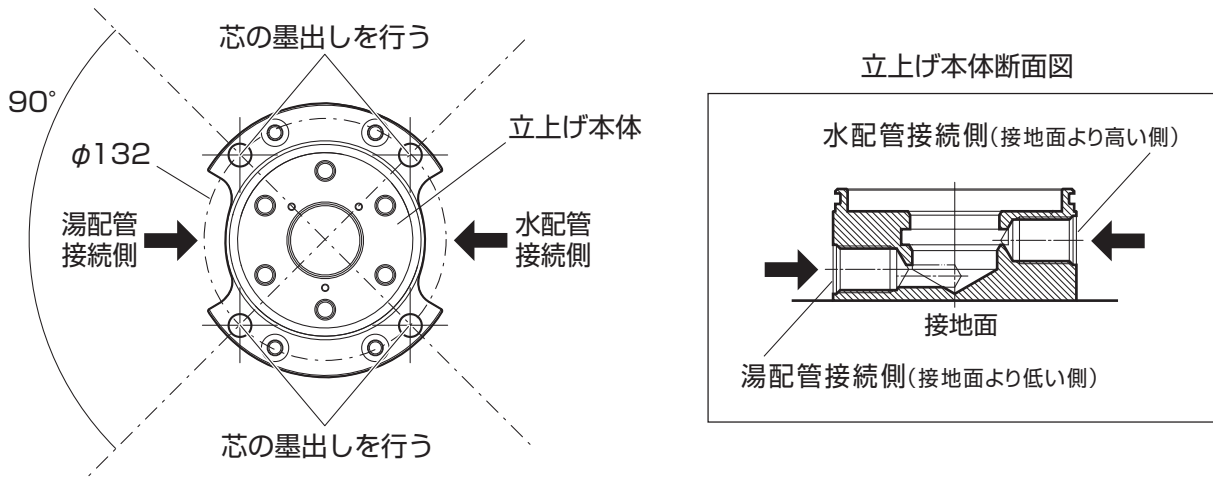


## ■SK8500

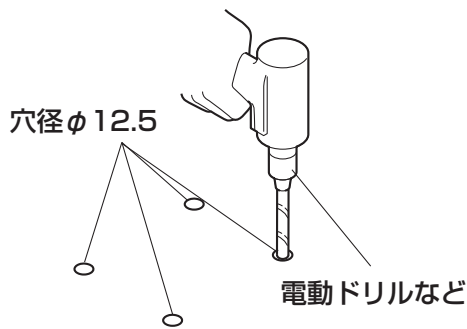


## 2 台座の取付け

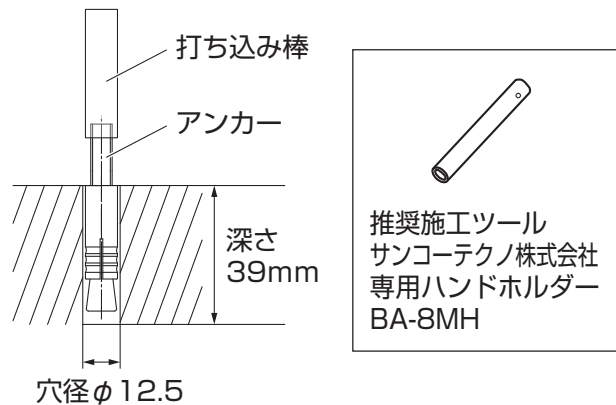
(1) 立上げ本体を仮置きし、アンカーボルト打ち込み芯の墨出しを行ってください。



(2) 墨出しを行った立上げ本体設置箇所に電動ドリルなどで径 $\phi 12.5$  深さ23mmの下穴を空けてください。(4箇所)



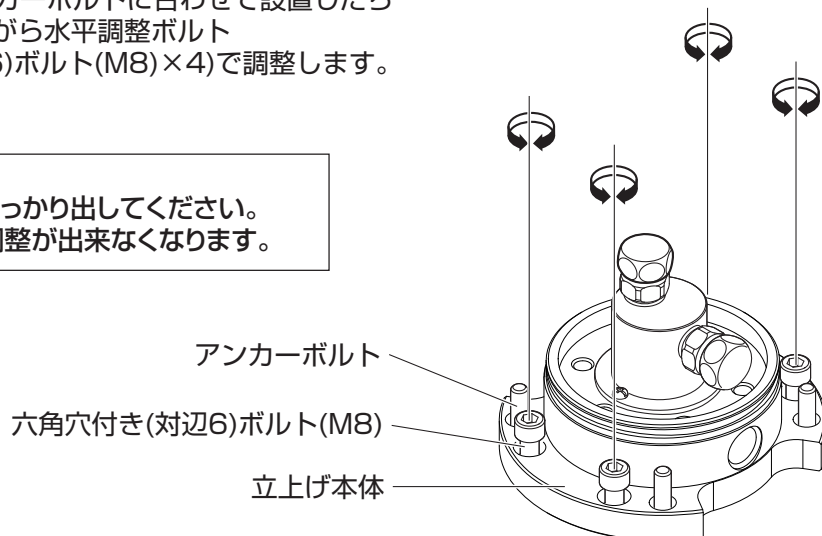
(3) 下穴に、打ち込み棒 (M8用) を使用してアンカーボルトを打ち込んでください。



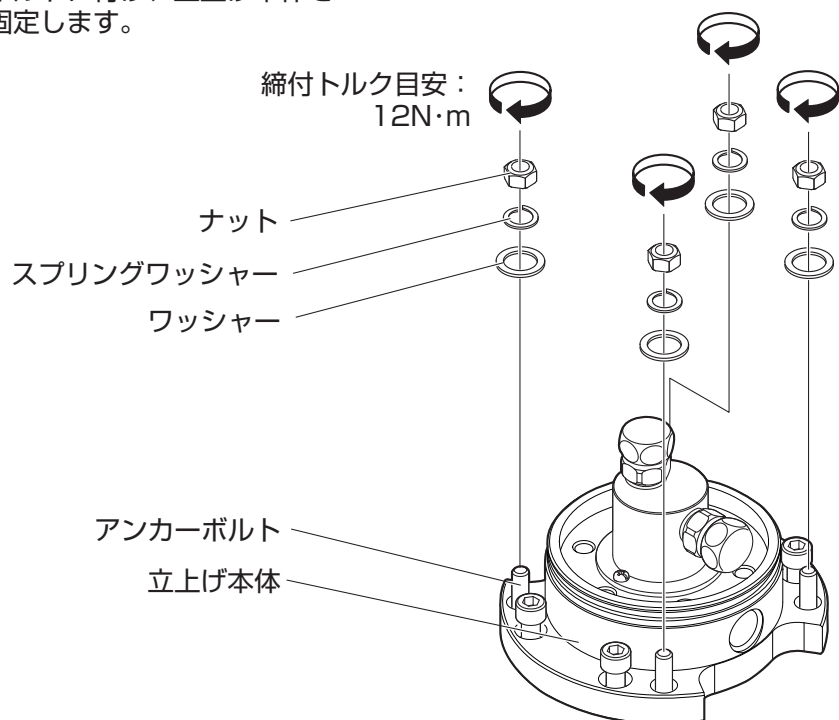
(4) 立上げ本体をアンカーボルトに合わせて設置したら水平器を使用しながら水平調整ボルト (六角穴付き(対辺6)ボルト(M8)×4)で調整します。

**注意**

台座の水平はしっかり出してください。  
本体設置後は調整が出来なくなります。



- (5) ナット、スプリングワッシャー、ワッシャーをアンカーボルトに付け、立上げ本体をしっかりと固定します。

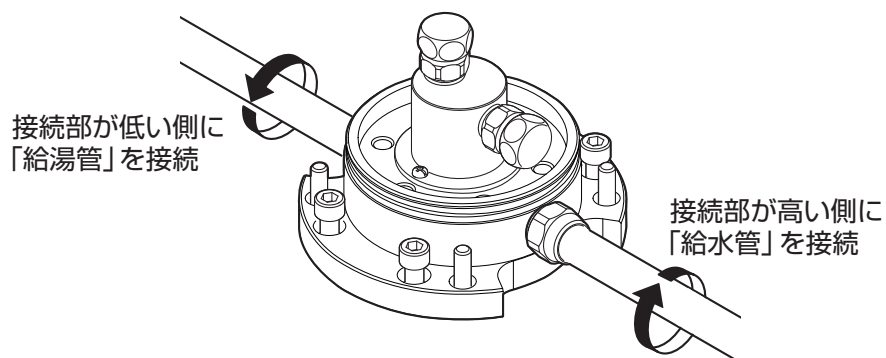


- (6) 給水管、給湯管を接続します。



注意

- 給水、給湯管を逆に接続しないでください。

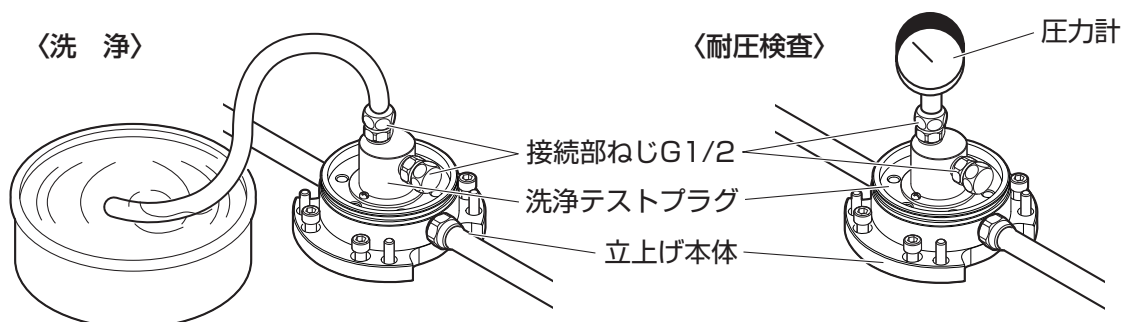


- (7) 立上げ本体に取付けられている洗浄テストプラグで耐圧検査、給水・給湯管の洗浄を行ってください。

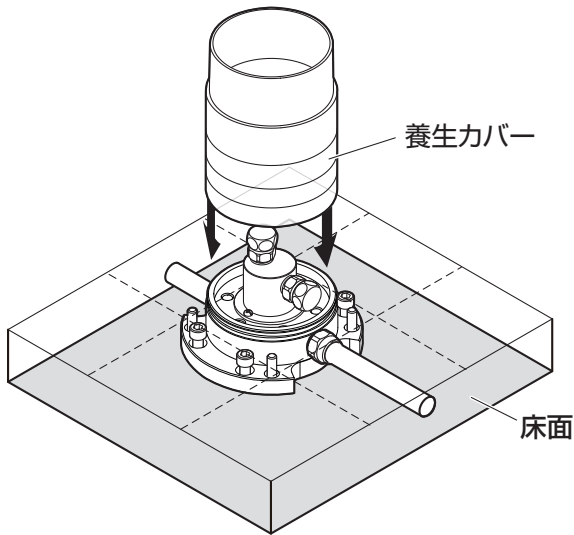


注意

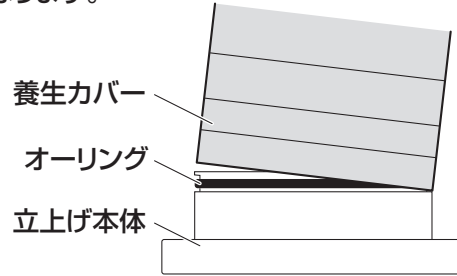
- 給水、給湯管接続部に水漏れがないことを確認してください。  
水漏れがある場合は、もう一度はじめてからやり直してください。



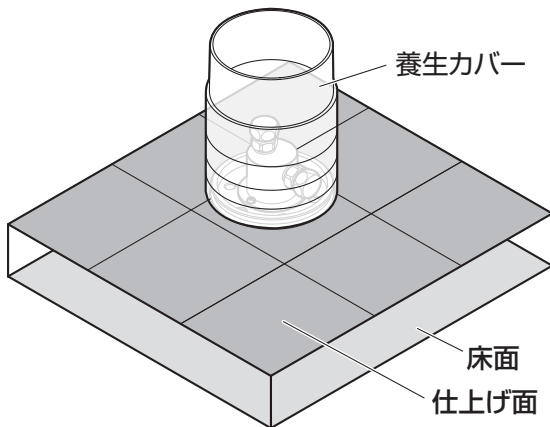
(8) 養生カバーを立上げ本体に底付きするようにはめ込んでください。



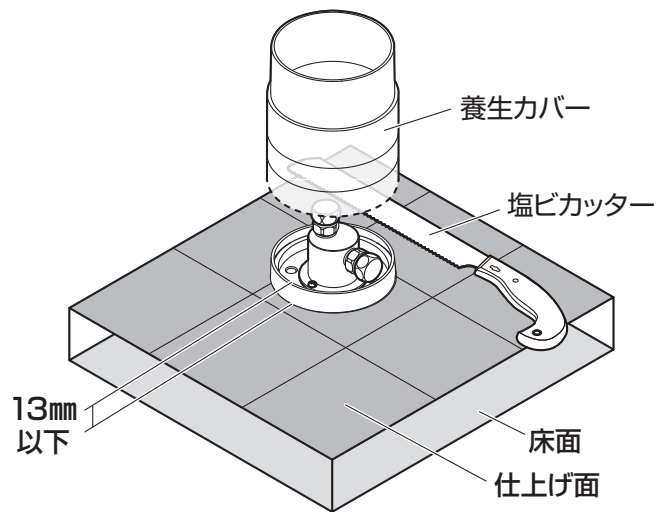
養生カバーが傾かないよう注意してください。  
養生カバーがはめにくい時は、立上げ本体の  
オーリング表面を水でぬらすとはめやす  
くなります。



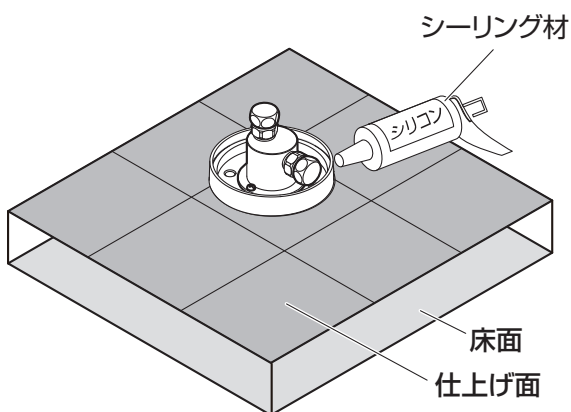
(9) 床面を仕上げてください。



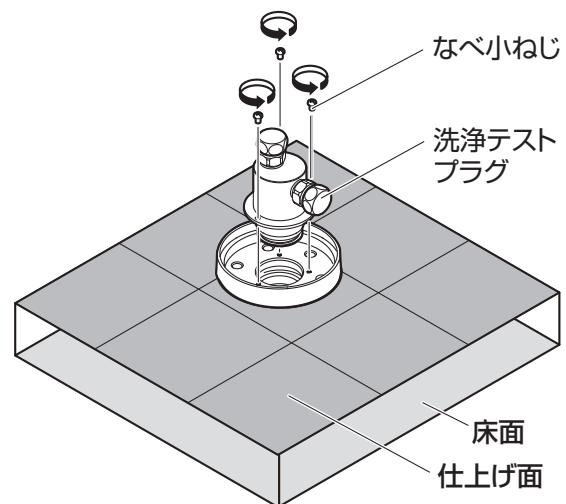
(10) 養生カバーを仕上面から13mm以下になるように、  
塩ビカッターを使用して切断してください。



(11) 養生カバーと仕上面のすき間には  
シーリング材を充填してください。



(12) なべ小ねじを外し洗浄テストプラグを  
立上げ本体から取りはずしてください。



### 3 水栓本体の取付け

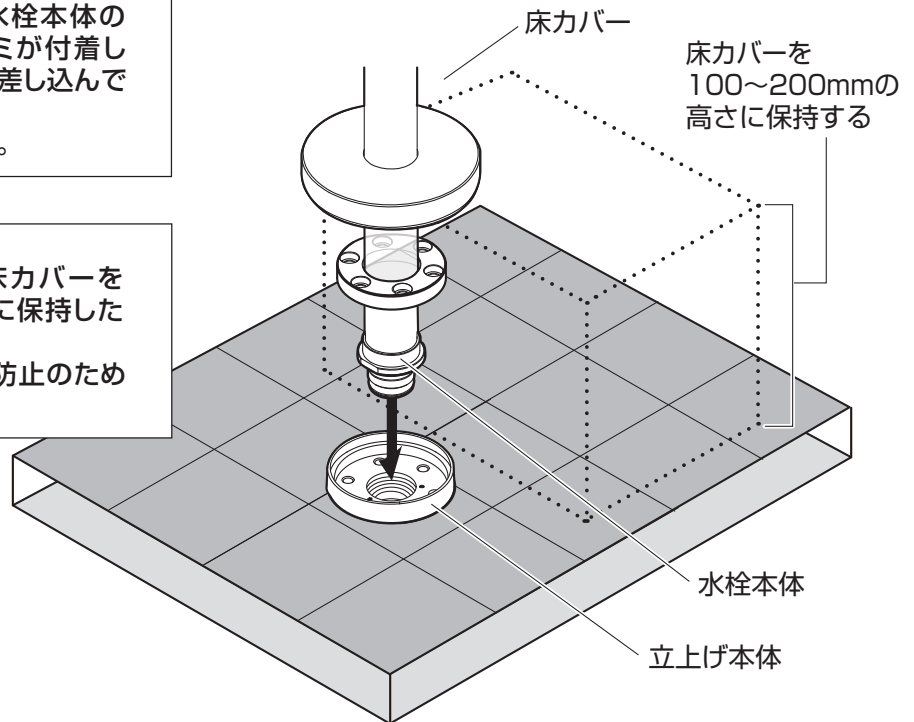
(1) 水栓本体を立上げ本体に差し込んでください。

#### ⚠ 注意

立上げ本体内部および水栓本体のオーリングに、キズやゴミが付着していないことを確認して、差し込んでください。  
※漏水の原因になります。

#### ⚠ 注意

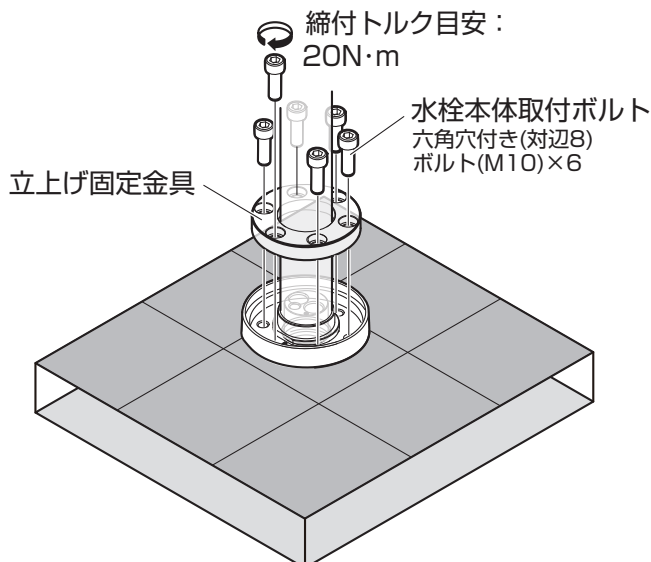
水栓本体取付けの際、床カバーを100~200mmの高さに保持した状態にしてください。  
※カバー落下によるケガ防止のため必ず実施してください。



(2) 水栓本体の向きを調整し、立上げ固定金具を水栓本体取付ボルト(六角穴付き(対辺8)ボルト(M10)×6)でしっかりと締めて固定してください。

#### ⚠ 注意

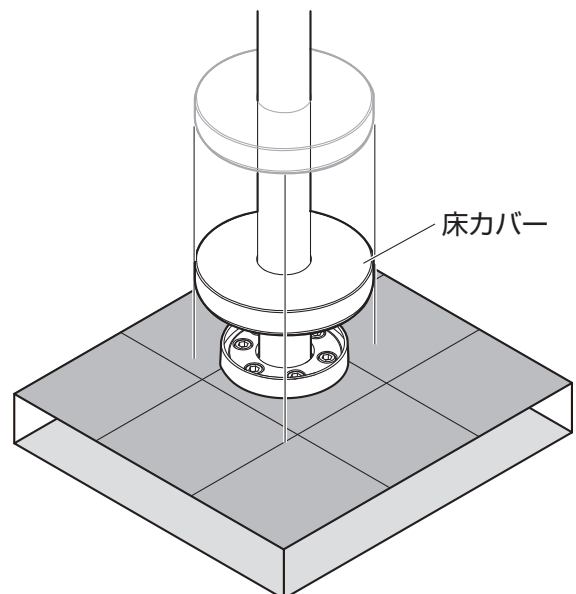
本体のオーリングを傷つけたりごみを付着させたりしないでください。一度固定すると水栓本体の向きを変えることができません。ご注意ください。



(3) 床カバーを仕上げ面に置く

#### ⚠ 注意

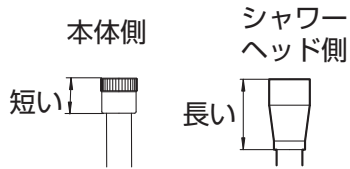
本体のオーリングを傷つけたりごみを付着させたりしないでください。



## 4 ハンドシャワー・シャワーホースの取付け(シャワー付の場合)

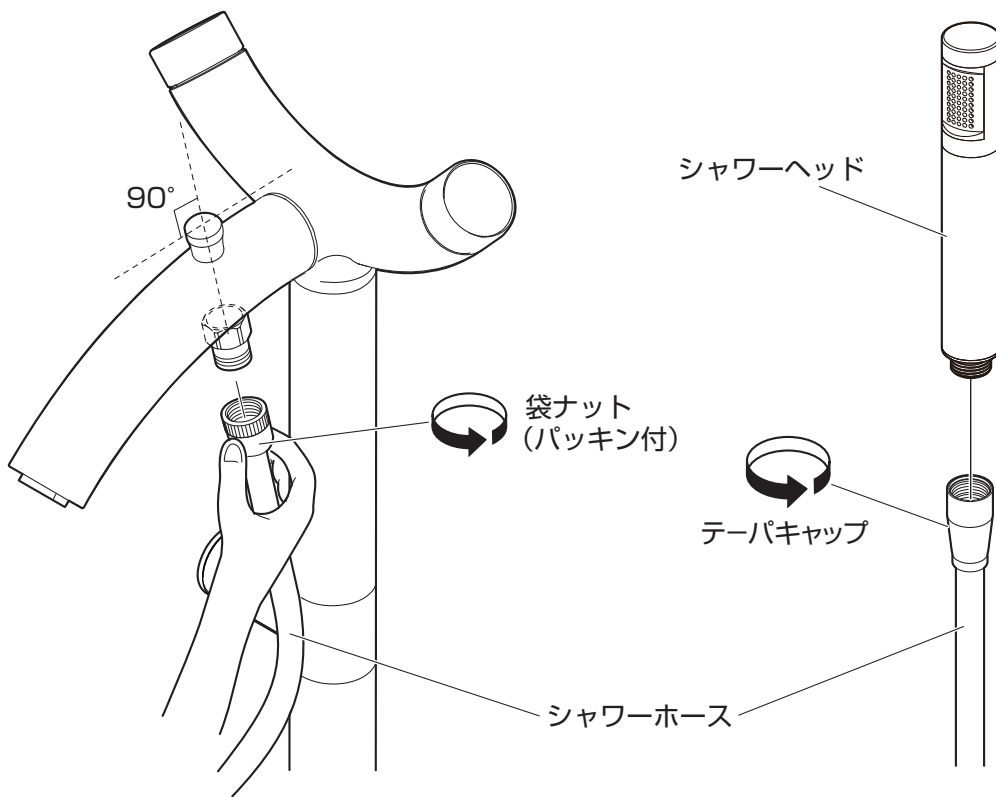
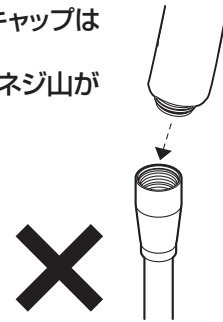
シャワーホースを取付けます。

- 袋ナット・テーパキャップは短い方が本体側です。
- 本体側の袋ナットにパッキンが入っていることを確認してください。



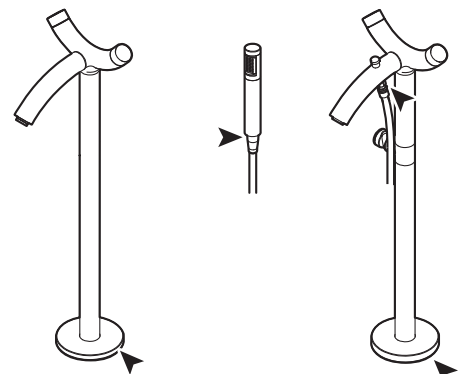
### ⚠ 注意

- シャワーヘッド・袋ナット・テーパキャップは手でまっすぐにねじ込んでください。工具を使用したり、斜めにねじ込むとネジ山が潰れ、接続できない場合があります。
- ホースのパッキンが入っている方を、本体に取付けてください。



## 5 確認

水栓本体がまっすぐ取付けられているか、ぐらぐらと不安定にならずに、しっかりと固定されているか。  
また、通水してみて、水栓本体や床カバーの下、シャワー接続部からの水漏れがないかを確実に確認してください。








# ご使用について

# ご使用に関する安全上のご注意

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

## 用語および記号の説明

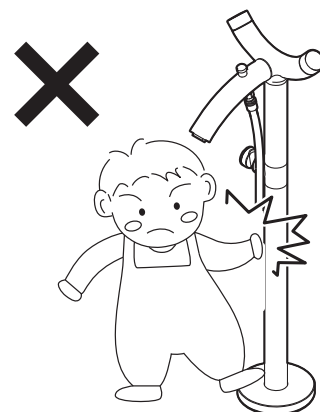
- 警告** …………… 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」
- 注意** …………… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
-  …………… 「注意しなさい！」（上記の「警告」「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）
-  …………… 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
-  …………… 「分解してはいけません！」
-  …………… 「指示した場所に触れてはいけません！」
-  …………… 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

## 警告



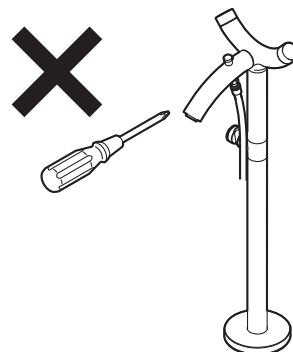
禁止

小さいお子様だけのご使用は、避けてください。  
やけど・けがをするおそれがあります。



分解禁止

分解は、保守・点検の決められた項目以外は  
行わないでください。  
器具が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

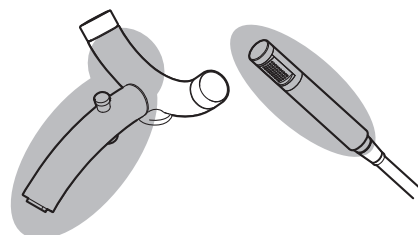


さわるな

高温の湯をお使いのときは、下記の  
部位に直接肌を触れないでください。

- 本体 ●吐水口
- シャワーヘッド

製品の特性上、高温になりやけどをするおそれがあります。



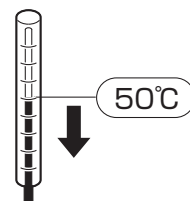
## 警告



必ず実行

(給湯器の設定温度について)

**給湯温度は最高85℃まででお使いください。**  
85℃より高温で使用になると器具の寿命が短くなります。  
なお、誤操作などによるやけど防止のため、50℃給湯をおすすめします。

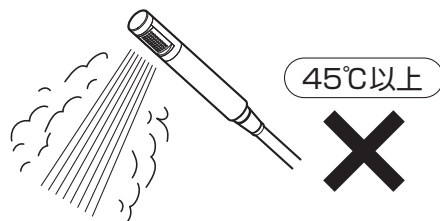


禁止

(シャワー付の場合)

**シャワーは45℃以上でご利用にならないでください。**

製品の特性上、直接肌に触れるとシャワーヘッドが熱くなり、やけどをするおそれがあります。  
安全のため、適温でのご使用をおすすめします。



必ず実行

**湯をお使いになるときは、必ず水側から開栓してください。その後徐々に湯側を開栓し、好みの温度に調節してください。**

湯側を先に開栓すると高温の湯が吐水し、やけどをするおそれがあります。

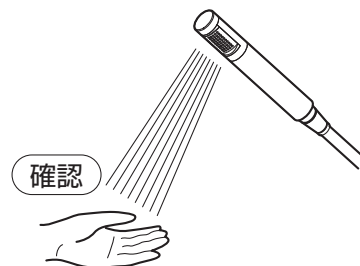


必ず実行

(シャワー付の場合)

**シャワーをお使いになる前に、必ず手で適温であることを確かめてください。**

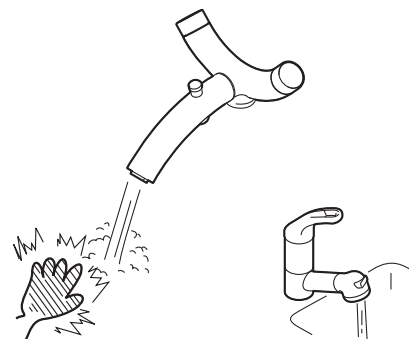
高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



必ず実行

**他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがありますのでご注意ください。**

やけどをするおそれがあります。

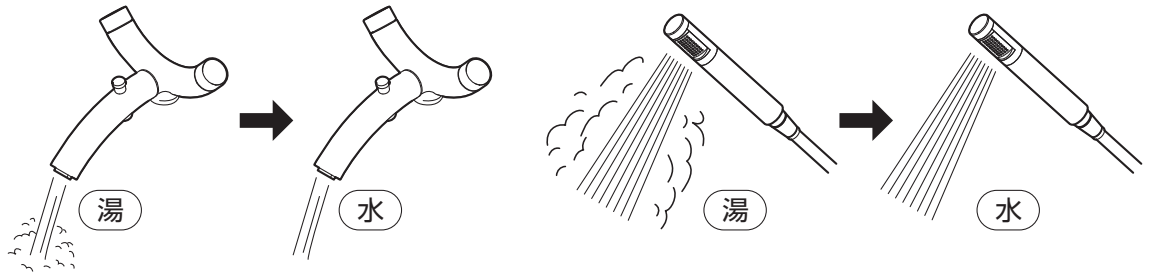


## 警告

湯をお使いの後は、しばらく水を流してから止水してください。  
次に使用する際、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。



必ず実行



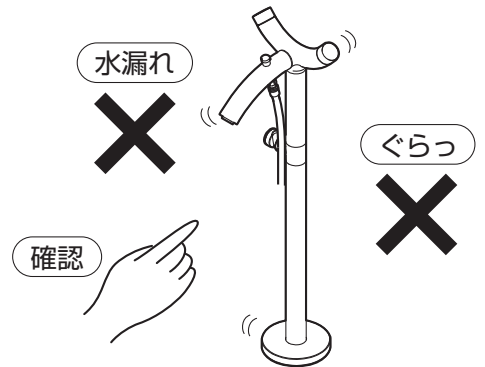
必ず実行

湯を止める時は、必ず湯側のハンドルから閉めてください。  
次に使用する際、水栓内に残っている高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



必ず実行

定期的に、配管周りの水漏れや、ガタツキがないか確認してください。  
劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



## 注意



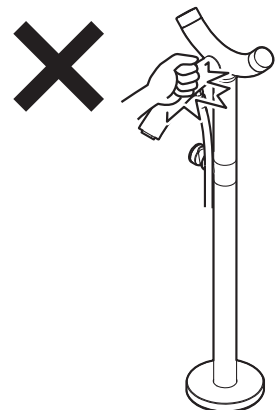
必ず実行

使い始めの水がにおう場合は、しばらく流してからお使いください。  
しばらく使われないと、水栓内の水は消毒用の塩素が少なくなり、におうことがあります。



禁止

製品に強い力や衝撃を与えないでください。  
故障や漏水の原因になります。



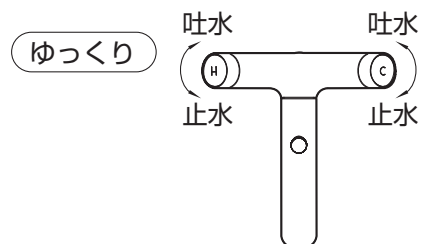
# ⚠️ 注意



必ず実行

**ハンドルは、ゆっくり回してください。**

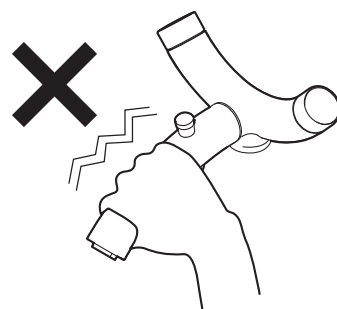
ハンドルを急に閉めると、配管に衝撃が加わり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



禁止

**水栓本体を手すり代わりに持ったり、ぶら下がったりしないでください。**

取付部が破損し、けがや水漏れの原因になります。



禁止

**本体に重いものを下げたり、力をかけて回したりしないでください。**

摩耗、変形などでパッキンの寿命が短くなり、吐水時に接合部から微小の水がにじみ出るおそれがあります。また、力をかけて回すと部品などが破損し家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



禁止

**製品にもたれかかったりしないでください。**

製品が破損し、けがや水漏れの原因になります。

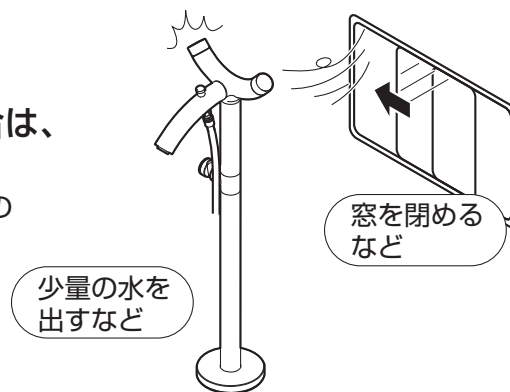


必ず実行

**凍結が予想される場所でご使用になる場合は、凍結予防を確実に実施してください。**

凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

参照：P19



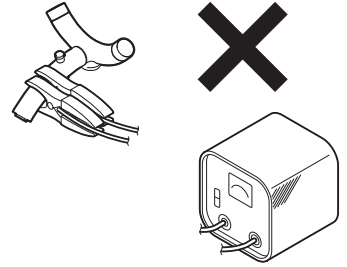
## ⚠️ 注意



禁止

解氷機やアースを水栓に通電しないで  
ください。

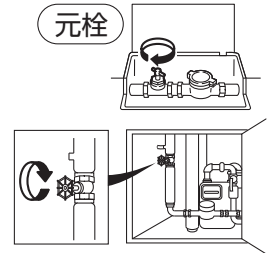
水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生  
のおそれがあります。



必ず実行

長期間使用しない時は、配管中の元栓を  
閉めてください。

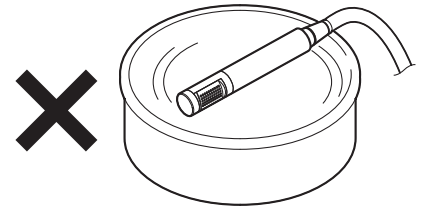
水漏れなどの事故の原因になります。



禁止

(シャワー付の場合)  
シャワーホースやシャワーヘッドを洗面器  
などに浸けたまま放置しないでください。

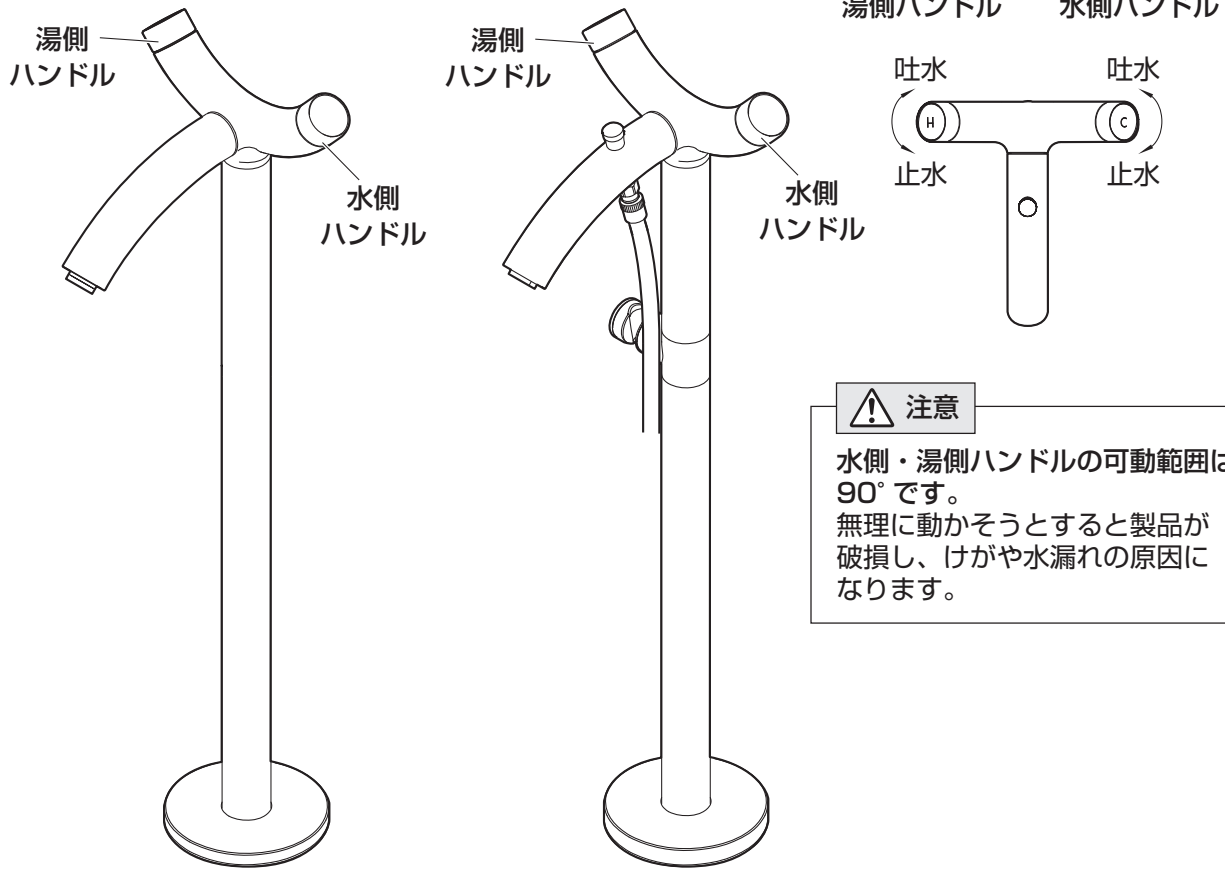
汚水が器具に逆流するおそれがあります。



必ず実行

(シャワー付の場合)  
シャワー板の目詰まりにより、散水不良が発生してきた  
場合は、器具の破損につながります。  
部品のお取替えも検討して頂くようお願いします。  
(この場合は有償修理となります。)

ハンドルを回すことで吐止水が可能です。湯を使用するときは水側ハンドルを開いてから徐々に湯側ハンドルを開き、温度および吐水量を調節してください。湯側ハンドルを先に開くと高温の湯が吐水し、やけどをするおそれがあります。



### ⚠ 注意

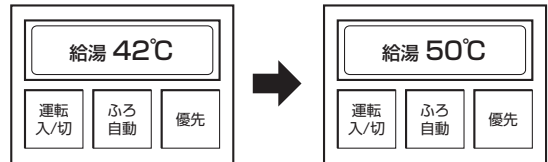
水側・湯側ハンドルの可動範囲は90°です。無理に動かそうとすると製品が破損し、けがや水漏れの原因になります。

### 使用後

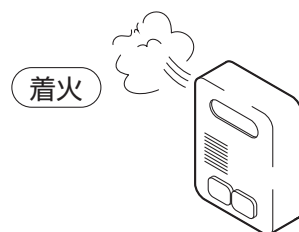
必ず湯側ハンドルから閉めてください。次に使用すると、器具内に滞留した高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。

### 高温の湯が出ないときは？

※湯側ハンドルを回しても高温の湯が出ないときは、給湯機（給湯リモコンなど）の給湯温度を50°Cに設定した後、湯側ハンドルを開いてください。



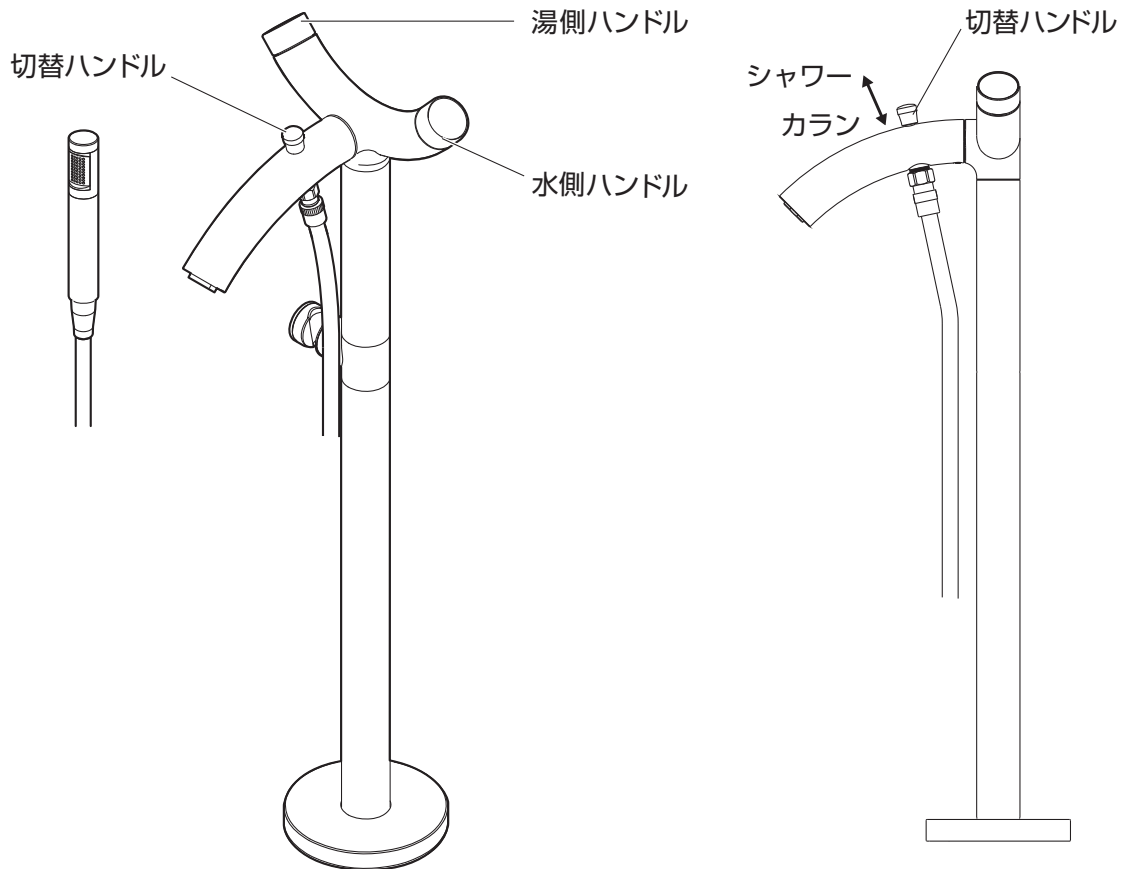
(注) 水温の高い夏場で吐水量を少なくして使うと瞬間式給湯機の場合、着火しないことがあります。この場合には、水栓のハンドルを全開に（吐水量を多く）するか、給湯機の温度設定を下げてください。



# ご使用について

## 吐水の切替え(シャワー付の場合)

切替ハンドルを上引くとシャワー、押し戻すとカランに切替ができます。また、シャワー吐水状態から止水すると切替ハンドルはカラン側に自動で戻ります。



### ⚠ 注意

- 流量や吐水温度を調節する場合は、湯水ハンドル側で調節してください。
- 切替ハンドルは全開でご使用ください。
- 流量が少ない場合、切替が機能しない場合があります。

### ⚠ 注意

止水後、シャワーヘッドから水滴がしばらく落ちる事がありますが、シャワーヘッド内の残留水です。異常ではありません。

いつもポタポタ出ているのは湯水ハンドルの閉め方がゆるいかセラミック上部が故障しているかのどちらかです。しかし、使用直後の一定時間だけの現象であれば閉め方、摩耗や故障ではありません。

シャワーヘッド内の水はシャワー散水板の表面張力により滞留しています。

振動や浴室ドアの開け閉めによる気圧の変化などにより表面張力が弱くなり、ポタポタと流れ出ることがあります。

※残留水を抜きたい場合は、シャワーヘッドをよく振ってください。

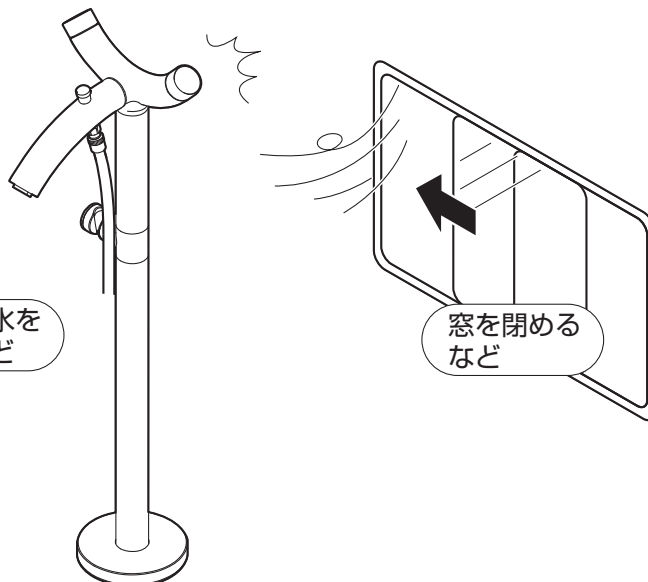


## ご使用について 凍結予防

凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- 水栓より少量の水を出してください。
  - 配管部などに保温材を巻いてください。
  - 屋内の窓を閉めるなどして水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
- ※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。

少量の水を出すなど



窓を閉めるなど

## 日頃のお手入れ 汚れの拭き取り

製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなる場合があります。快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

- 柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

### ⚠注意

- 中性洗剤以外は使用しないでください。

中性洗剤以外を使用すると、変色や破損のおそれがあります。



- お手入れする際は、次のものは絶対に使用しないでください。

【使用してはいけないもの】

- 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類  
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
  - ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
  - クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
  - ナイロンたわし・メラミンフォームなど
- 製品の割れや変色変質の原因となります。



洗剤・薬品が製品に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取ってください。製品の割れや変色変質の原因となります。

すぐ拭く



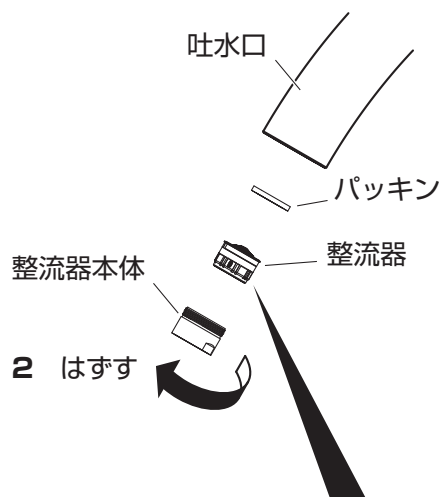
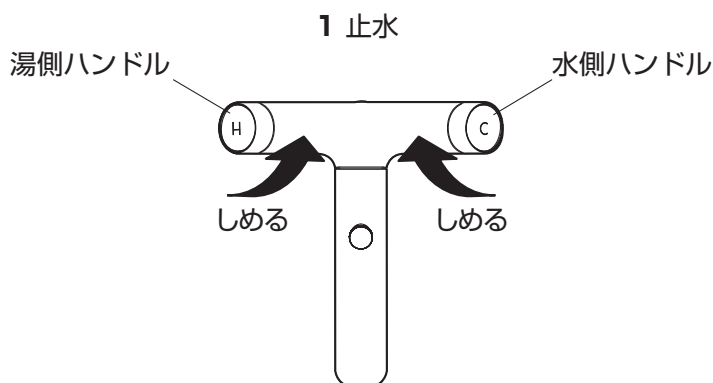
## 日頃のお手入れ 吐水口の掃除

吐水口の汚れを放置しておくと、十分な性能を発揮できないことがあります。

快適・衛生的にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

(近所で水道工事があったり、長期間使用し湯水の出が悪くなった場合にも、汚れの点検・お手入れをおすすめします。)

- 1 湯側・水側のハンドルをしめて、止水します。
- 2 工具を使い、整流器本体をはずします。
- 3 ハブラシなどで整流器を掃除します。
- 4 部品を元通りに取り付けます。



### 再使用时

整流器本体が確実に閉まっているか確認してください。

### 注意

パッキンのゴミかみに注意してください。

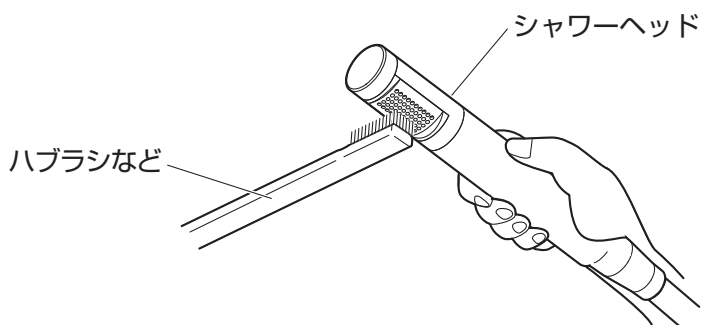
## 日頃のお手入れ シャワーヘッドの掃除 (シャワー付の場合)

シャワーヘッドの汚れを放置しておくと、十分な機能を発揮できないことがあります。

快適・衛生的にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

(近所で水道工事があったり、長期間使用し湯水の出が悪くなった場合にも、汚れの点検・お手入れをおすすめします。)

シャワー板の穴がつまり、水流が乱れたり出にくくなった場合は、シャワーヘッドをホースから取りはずして歯ブラシなどで掃除してください。本体内にゴミが残らないように水で洗い流してください。



### 注意

- 表面を傷つけないように注意して掃除してください。
- シャワー板の目詰まりにより、散水不良が発生してきた場合は、器具の破損につながります。部品のお取替えも検討して頂くようお願いいたします。(この場合は有償修理となります。)

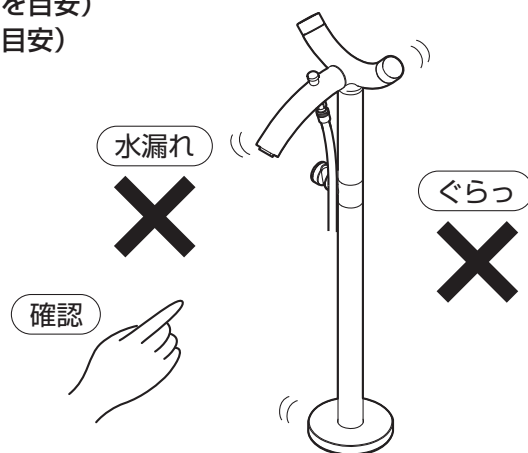
## 定期的な点検

## 配管周りの水漏れ・器具のガタツキ

定期的に、配管周りの水漏れがないか確認してください。（年2回を目安）

定期的に、器具のガタツキがないか確認してください。（年2回を目安）

劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



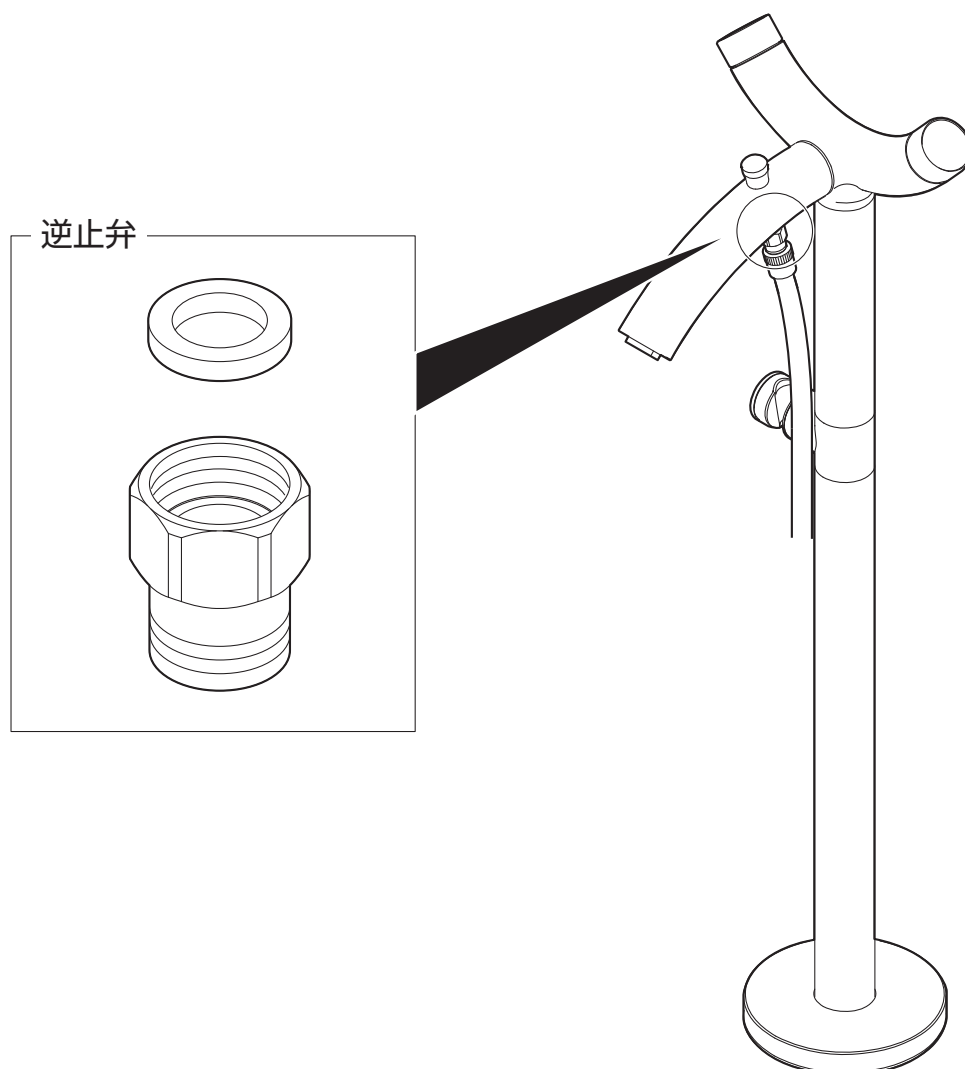
修理の依頼をされる場合は、「保証とアフターサービス」(P26)を参照してください。

## 定期的な部品交換

## 逆止弁の交換時期(シャワー付の場合)

逆止弁の交換時期の目安：3～5年

万が一、逆止弁が正常に機能しない場合、状況によっては水栓から一度吐水した水が逆流するおそれがあります。



※交換時期は、使用環境などにより異なります。

※逆止弁の交換を依頼される場合は、「保証とアフターサービス」(P26)を参照してください。

# こんなときは 故障？ その前に

修理をご依頼される前に、次の表に従って点検してください。

現象	点検項目	処置
流量が少ない	元栓は開いていますか。	元栓を開ける。 参照：P22
	ゴミづまりはありませんか。	吐水口・シャワーヘッドの掃除をする。 参照：P20
低温しかでない	給湯機から湯がきていますか。	給湯機の設定温度・作動を確認する。 参照：P17
温度調節がうまくできない	給湯機から湯がきていますか。	給湯機の設定温度・作動を確認する。 参照：P17
	ゴミづまりはありませんか。	吐水口・シャワーヘッドの掃除をする。 参照：P20
シャワーヘッドから水滴が落ちる	ハンドルは閉じていますか。	ハンドルを閉じる。 参照：P17
	一定時間経過で水滴が落ちなくないませんか。	シャワーヘッド内の残留水で異常ではありません。 参照：P18

以上の点検を実施されても、不具合がなくなる場合はお手数ですがお買上げの販売店（工事店）に修理をご依頼ください。

●修理される方は次の表に従って点検してください。

現象	点検項目
各接合部及びハンドル部から水が漏れる	老朽化や使用環境により部品の劣化やゴミかみのおそれがあります。各接合部からの水漏れの場合は、水漏れ箇所の部品を交換してください。 参照：P23～24 ハンドルからの水漏れの場合は、セラミック上部を交換してください。
止水しても吐水口から水が漏れる	老朽化や使用環境により部品の劣化やゴミかみのおそれがあります。セラミック上部を交換してください。 参照：P23～24
シャワーホースから水が漏れる	老朽化や使用環境により部品の劣化のおそれがあります。シャワーホースを交換してください。 参照：P24

## 漏水した場合の処置

漏水した場合は、配管中の元栓を閉めてください。

### 元栓の閉め方

元栓ボックス（メーターボックス）のふたを開け、元栓を右に回して閉めます。

※元栓を閉める前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。

※閉栓後は近くの水栓などで給水が止まっていることを確認してください。

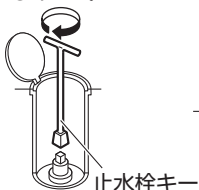
※一部の地域では左回しの場合があります。

※元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。

#### ■ 戸建て住宅などの元栓ボックス：

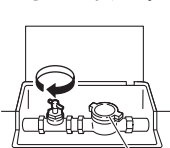
主に玄関やガレージ付近の地面にあります。古い戸建て住宅の場合は道路に円形のキー式ボックスがあったりします。

##### ●キー式



止水栓キー

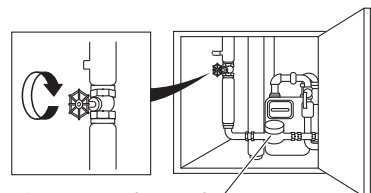
##### ●ハンドル式



水道メーター  
(量水器)

#### ■ マンションなどの中高層住宅の元栓ボックス：

主に玄関を出た階段の踊り場に鉄の扉があり、電気やガスのメーターと共に水道メーターと元栓があります。お隣と共通のボックス内で元栓の場所がわからない場合は、水道料金の検針票などでご自分の水道メーター番号を確認してください。

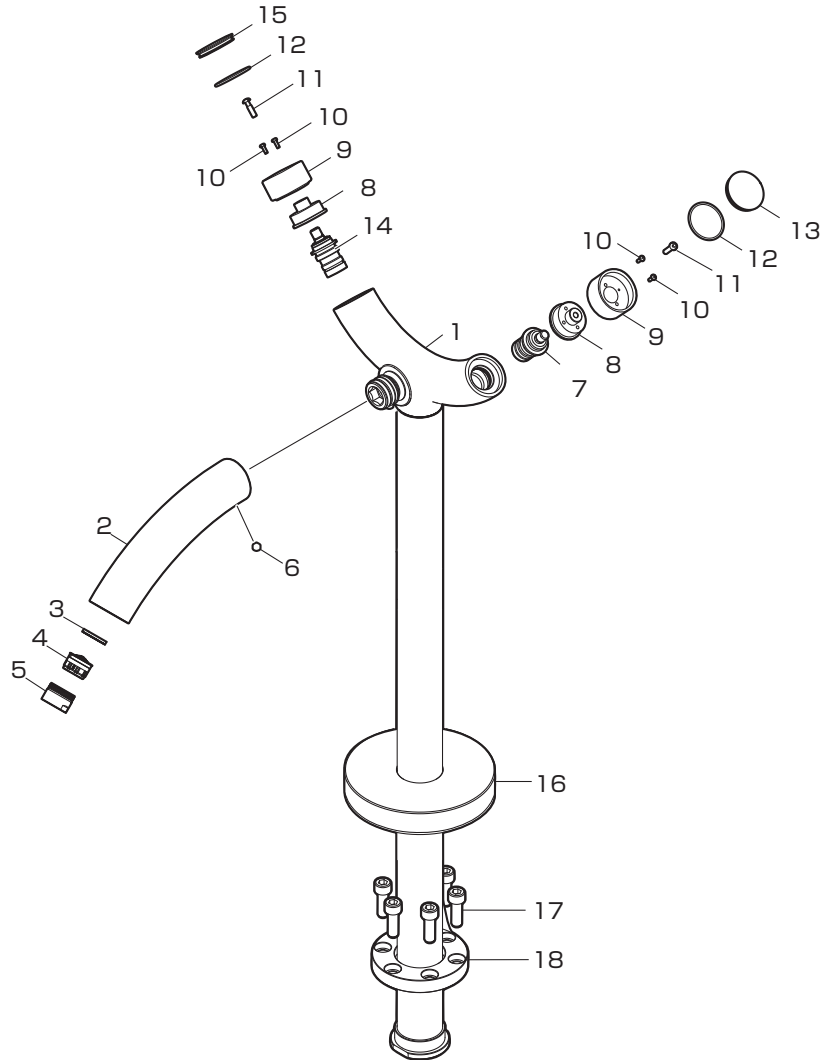


水道メーター (量水器)

# こんなときは 本製品の構造

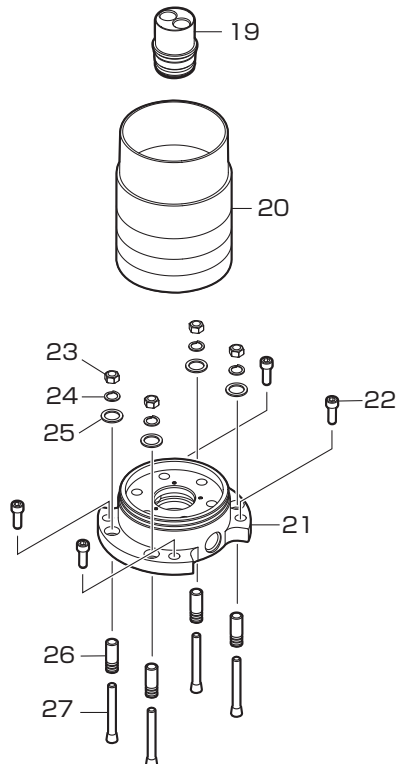
本製品の構造を表したイラストです。構造をご理解いただくのにご使用ください。

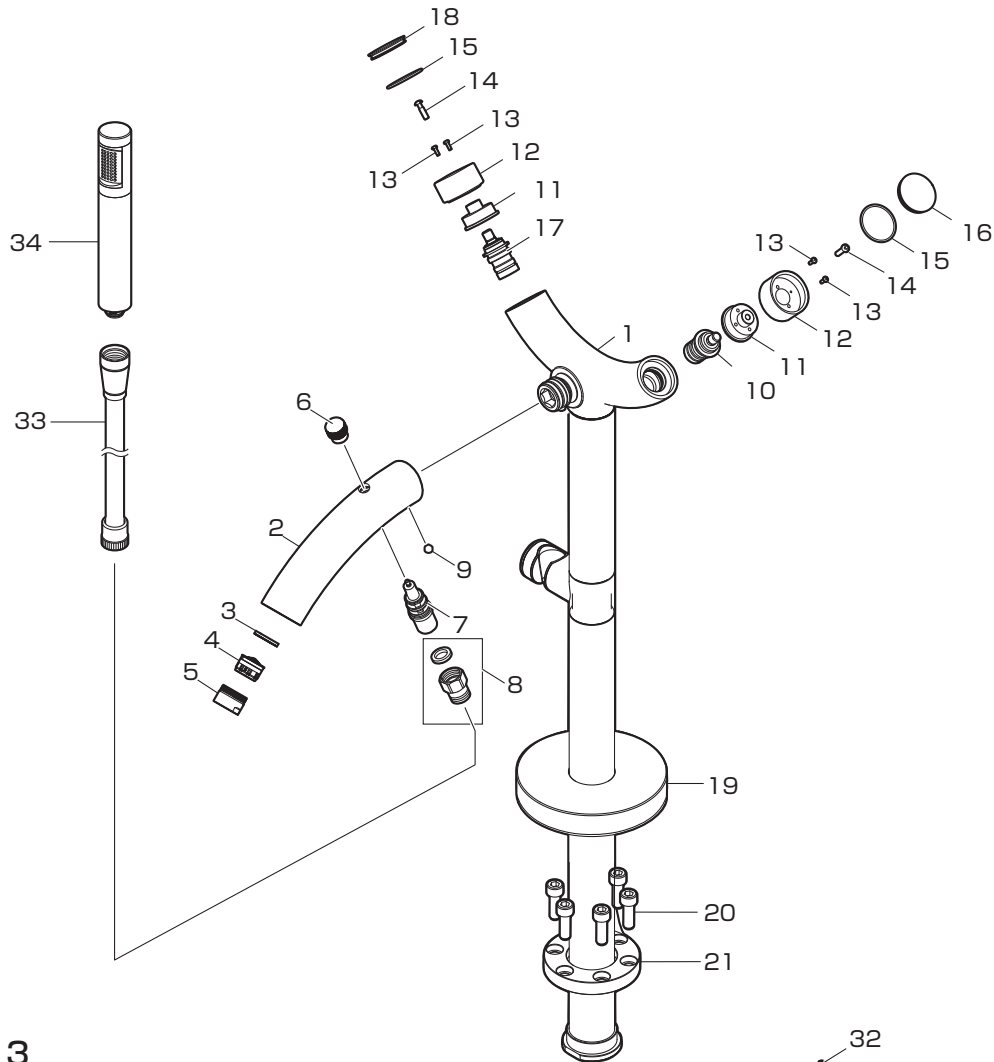
※部品として注文いただける単位のものではありません。



## K8500-13

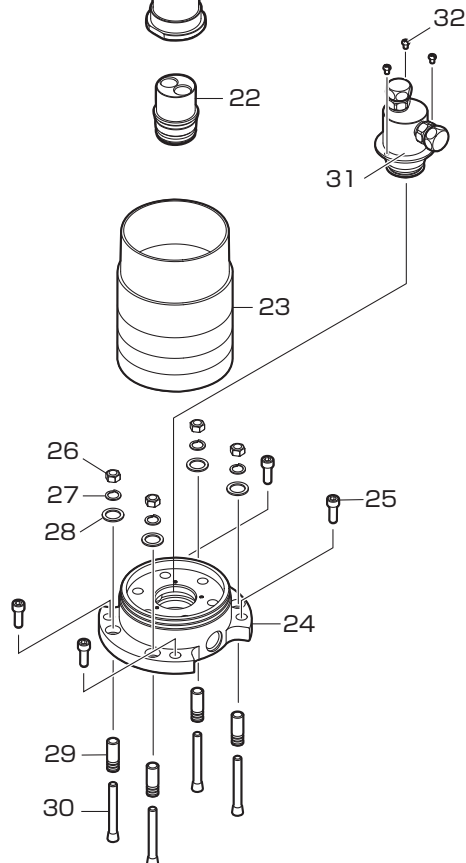
- |     |               |
|-----|---------------|
| 1.  | 本体            |
| 2.  | 吐水口           |
| 3.  | パッキン          |
| 4.  | 整流器           |
| 5.  | 整流器本体         |
| 6.  | 六角穴付き止めねじ     |
| 7.  | セラミック上部(水側)   |
| 8.  | ハンドルインサート     |
| 9.  | ハンドル          |
| 10. | なべタッピンねじ      |
| 11. | なべ小ねじ         |
| 12. | オーリング         |
| 13. | ハンドルキャップ (水側) |
| 14. | セラミック上部(湯側)   |
| 15. | ハンドルキャップ (湯側) |
| 16. | 床カバー          |
| 17. | 六角穴付きボルト(φ13) |
| 18. | 立上げ固定金具       |
| 19. | 湯水接続胴         |
| 20. | 養生カバー         |
| 21. | 立上げ本体         |
| 22. | 六角穴付きボルト(φ16) |
| 23. | ナット           |
| 24. | スプリングワッシャー    |
| 25. | ワッシャー         |
| 26. | アンカー          |
| 27. | アンカーボルト       |





## SK8500-13

1. 本体
2. 吐水口
3. パッキン
4. 整流器
5. 整流器本体
6. 切替ハンドルキャップ
7. 自動復帰弁
8. 逆止弁
9. 六角穴付き止めねじ
10. セラミック上部(水側)
11. ハンドルインサート
12. ハンドル
13. なべタッピンねじ
14. なべ小ねじ
15. オーリング
16. ハンドルキャップ (水側)
17. セラミック上部(湯側)
18. ハンドルキャップ (湯側)
19. 床カバー
20. 六角穴付きボルト(φ13)
21. 立上げ固定金具
22. 湯水接続胴
23. 養生カバー
24. 立上げ本体
25. 六角穴付きボルト(φ16)
26. ナット
27. スプリングワッシャー
28. ワッシャー
29. アンカー
30. アンカーボルト
31. 洗浄テストプラグ
32. なべ小ねじ
33. シャワーホース
34. シャワーヘッド





# 保証とアフターサービス

## 〔保証について〕

- この製品は保証書の内容に従って保証されています。  
お買上げ(お取付け)年月日、販売店(工事店)名が記入してあることを確認してください。
- 保証期間中は保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。  
保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をご確認ください。  
保証期間は保証書を確認してください。
- 保証期間を過ぎていても修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

## 〔水栓の定期的な点検・部品交換について〕

水栓の性能を維持するために定期的な点検・部品交換が必要です。摩耗劣化部品は、5年を交換の目安としておりますが、逆止弁については、より安全を考え、早め(3~5年)の点検・交換をおすすめします。(交換時期は、使用環境などにより異なります。)

### 定期点検・部品交換

使用年数

1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12

お客様による日常のお手入れ・点検

買替  
ご検討

摩耗劣化部品の交換

日頃のお手入れについてはP19~20、定期的な点検についてはP21をご確認ください。

摩耗劣化部品とは、日頃使用する度に摺動する、または摩耗及び劣化しやすい部品のことです。

摩耗劣化部品の例：セラミック上部・逆止弁・シャワーホース など

部品が摩耗劣化すると操作性低下、機能障害、劣化物流出や水漏れなどの原因になりますので、交換が必要です。  
部品の詳細についてはP23~24を参照してください。

## 〔補修用部品の供給期間〕

この製品の補修用部品(機能維持のために必要な部品であり、使用期間中に取替える可能性が高いもの)の供給期間は製造中止後10年です。

## 〔修理の依頼と部品交換の依頼について〕

- 修理依頼と部品交換依頼先：お求めの販売店(工事店)又は当社
- 連絡していただきたい内容：
  - 住所、氏名、電話番号
  - 品番、品名
  - お買上げ(お取付け)年月日
  - 故障内容、異常の状況(水漏れ箇所の説明など)、  
部品交換の依頼
  - 訪問希望日

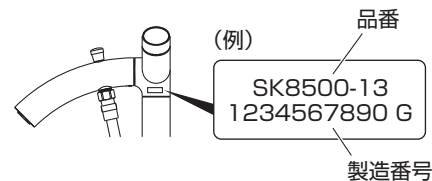
●当社の修理および部品交換料金は「技術料」+「部品代」+「出張料」で構成されています。

「技術料」……診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用。

「部品代」……修理および部品交換に使用した部品代。(無料修理で交換した古い部品・製品は当社の所有になります。)

「出張料」……製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用。

品番を確認するには本体の水側ハンドル根元に貼付のシールをご確認ください。



## 〔部品のご購入や修理の依頼、ご相談は〕

- まずは、お求めの販売店(工事店)へご相談ください。  
ご不明な場合は下記までお問い合わせください。

SANEI 株式会社

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号

お問い合わせ窓口 ☎ 0120-06-9721

受付時間 9:00~17:00(土日祝除く)

ホームページ [www.sanei.ltd](http://www.sanei.ltd)

## 水栓金具保証書

本書は、本書記載内容で無料修理させていただく事をお約束するものです。

保証期間中に故障が発生した場合は、お買上げの販売店(工事店)にご依頼いただき、出張修理に際して本書をご提示ください。

お買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名など記入もれがありますと無効となります。

必ずご確認ください、記入のない場合はお買上げ(お取付け)の販売店(工事店)に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

品番	品番は製品本体に貼っているシールをご確認ください。		販売店 工事店	店名 住所
保証期間	対象部品 本体	期間(お買上げ日/お取付け日から) 2カ年		
お買上げ日 (お取付け日)	年 月 日		電話 ( )	
お客様	お名前 ご住所 電話 ( )			

＜無料修理規定＞ ご依頼の前に再度、取扱説明書をお読みいただきご確認ください。

- 「取扱説明書」、「ラベル」などの注意書に従った正常な使用、維持管理状態で、保証期間中に故障した場合、無料修理いたします。
- ご転居、ご贈答品などで本保証書に記入の販売店(工事店)に修理を依頼できない場合は当社にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
  - (1) 使用、維持管理上の誤り及び不当な修理、改造による故障及び損傷
  - (2) 温泉水、中水、飲用不可な井戸水による故障及び損傷
  - (3) お買上げ(お取付け)後の取付場所の移動及びそれに伴う落下などによる故障及び損傷
  - (4) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害など、その他の事故及び損傷の原因が製品以外にある場合
  - (5) 電気製品における異常電圧、指定外の使用電源(電圧・周波数)及び外部ノイズなどに起因する不具合
  - (6) 消耗部品の劣化に伴う故障及び損傷
  - (7) 施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合
  - (8) 建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)など製品以外の不具合に起因する製品の不具合及び表面仕上げ、色あせなどの経年変化又は使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合
  - (9) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
  - (10) ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合
  - (11) 砂やごみ、給水・給湯配管の錆など異物流入及び水あかの固着に起因する不具合
  - (12) 寒冷地仕様の製品で水抜きをされなかった場合や、寒冷地仕様でない製品の凍結による故障及び損傷
  - (13) 本書の提示がない場合
  - (14) 本書にお買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名の記載がない場合、あるいは字句の書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
  - ★ この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましてはお買上げの販売店(工事店)、または当社にお問い合わせください。
  - ★ 補修用部品の保有期間についてご不明の場合は下記までお問い合わせください。

修理メモ

SANEI 株式会社

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号  
お問い合わせ先 ☎ 0120-06-9721  
受付時間 9:00~17:00(土日祝除く)  
ホームページ [www.sanei.ltd](http://www.sanei.ltd)